



ユーチューバー
YouTuber・農家

ケオマニヴォンさん センマニ

ラオスから農業研修生として来日したことがきっかけで、鹿屋で農業を営む現在の夫と13年前に結婚しました。結婚して最初の4年間は、夫や叔母に日本の生活や料理について教えてもらいましたが、子育てと介護で忙しい日々を過ごしていました。その後、子どもが保育園に通い始めてからだんだんと自分の時間が作れるようになると、何か自分のやりたいことをしたいと思うようになりました。

その頃に、日本の自動車免許の

取得のチャンスができたので、何回も試験に挑戦して、ようやく免許を取得。このことで行動範囲も広がり、トラクターも動かせるようになります。農業もその時期から本格的に始めるようになり、まずはナス、オクラ、キュウリから育て始めました。毎年野菜づくりの試行錯誤を重ね、今では20種類以上の野菜を育て、無人販売所に置いたりどつ菜市場に卸したりしています。

自分で育てた野菜を見せたい、

農業の様子を私の言葉で届けたいという思いから「せんちゃん農業」というYouTubeチャンネルを始めたのは3年前になります。野菜を植え、それが育つ様子や収穫する様子、農作業の解説等を配信するようになると、農業に興味がある人のほかに一般の人からもたくさんの方々が反響があり、始めてから1年でチャンネル登録者数を1,000人に到達させることができました。

それからほぼ毎日動画を上げ続け、これまで配信した動画の数は約800本に。最近では家族の思い出を綴る日記代わりとして、日々の農業や家族の様子を動画にしています。YouTubeで知り合った人が「せんちゃんの野菜を食べたい」と福岡やドイツなどの遠方から訪ねてきた時は、本当にうれしかったです。これからは「東南アジアの人に私の新鮮野菜を届けたい」という夢に向かって頑張ります。



【右】YouTubeチャンネル「せんちゃん農業」は、家族の協力をもらいながらの運営。動画の中でも再生数が多いものは約3万回視聴されている。

【左】ラオスで挙げた結婚式の様子。親戚や近隣の人が総出で祝った。

information

ラオス人民民主共和国出身。日本に来てからの得意料理は、叔母直伝の落花生豆腐。2児の母で、子どもたちも自分でスーパー等で種を買って農業をしている。子育てや農業、動画作りで毎日があつという間に過ぎていくと語る。